

## 猫に関わる皆さんへのお願い

### 猫を飼っている方へ

- 1 屋内で飼いましょう
- 2 不妊去勢手術をしましょう
- 3 迷子札をつけましょう
- 4 絶対に捨てないでください
- 5 最後まで責任をもって飼いましょう

**マイクロチップによる個体識別**  
15桁の数字データの入ったチップを獣医師が注射器で埋め込みます。迷子になっても、ちゃんと飼い主さんの元にお返しできます。



### 猫に餌を与えている方へ

グループではなく、個人でノラ猫に餌を与えている方も、地域猫活動にならって、次のことを守り、近隣住民とのトラブルが発生しないよう心がけましょう。

- 1 ご近所さんの理解を得ましょう
- 2 不妊去勢手術をしましょう
- 3 餌の食べ残しはすぐに片づけましょう
- 4 餌場のすぐ近くにトイレを置いてあげましょう
- 5 周辺環境の美化に努めましょう



### 不妊去勢手術のメリット

繁殖制限には、数が増えないほかにも、猫にとってさまざまな良い効果が得られます。

#### オス

- ケンカによるケガの防止
- スプレーやマーキングの抑制
- 性感染症など病気の予防
- 尿の臭いの軽減

#### メス

- 発情がなくなり、鳴き声を抑制
- 妊娠、出産の身体的ストレスから解放
- 性感染症など病気の予防

⇒ おだやかに過ごすことができます

### 猫の侵入防止策

自宅の敷地内は、自身で猫が入ってこないよう対策をとることが原則です。敷地内に猫が入ってくると困る方は、次のような侵入防止策をとってみましょう。



プラスチック製のもの  
(人や動物を傷つけないもの)

物理的な侵入防止  
(柵、障害物の設置 など)



匂いで防ぐ  
(竹酢、コーヒークラス など)



超音波発生器

これらの他にも方法があります。猫との根比べでもありますが、いろいろ試してみてください。侵入防止策は継続することが重要です。

# 地域猫活動ガイドライン

～人と猫が共生できる地域を目指して～

地域猫活動は、「猫を助けたい方」と「猫に困っている方」が、飼い主のいない猫に関する問題を地域の共通課題として捉え、お互いの歩み寄りにより地域住民の間で合意し、長期的な視点で地域から飼い主のいない猫を減らしていくことを目的としています。

本ガイドラインは、飼い主のいない猫による問題の有効な解決方法の一つである地域猫活動への理解が深まり、地域に浸透し、「人と動物の共生する社会」の実現に向けた一助となるよう作成したものです。



発行／福岡県保健医療介護部生活衛生課  
所在地／福岡市博多区東公園7-7

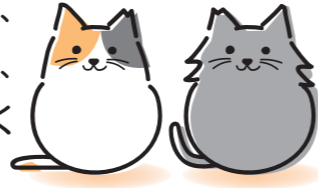
地域猫活動についてより詳しく解説した「福岡県地域猫活動ガイドライン」はこちら→



## 地域猫活動とは

ノラ猫の問題を解決するには、地域の「猫を助きたい方」と「猫に困っている方」とが互いに「餌やり以外の管理もする」「排除せず見守る」といった歩み寄りの気持ちを持ち、長期的な視点で解決を目指すことが求められます。

地域猫活動とは、地域住民の合意のもと、その地域にお住まいの活動を行おうとする**住民(活動グループ)**が主体となって不妊去勢手術や一定のルールに基づいた餌やり、トイレの管理などを行うことにより、猫による**生活環境被害**を軽減しつつ、猫に**一代限りの生**を全うさせ、数年かけて地域からノラ猫を減らしていく**環境美化のための取り組み**です。



### 地域猫活動を始めるきっかけはいろいろ...

#### 猫を助きたい...

- 猫がかawaiiそう
- 自分では飼えないけど、餌はあげたい
- 不幸な猫が増えるのは防ぎたい

※餌を与えるだけで**不妊去勢手術**をしなければ子猫が生まれ、ノラ猫が増えてしまい、糞尿や鳴き声などの**近隣トラブル**がどんどん**拡大**していきます。



#### 猫に困っている...

- 庭や駐車場に糞尿をされて迷惑
- 鳴き声がうるさい
- ゴミを荒らされて迷惑
- 子猫が生まれた・猫が増えた

※猫は「動物の愛護及び管理に関する法律」によって愛護動物とされ、みだりに殺したり傷つけたりすることは禁じられているため、**行政機関では殺処分を目的とした捕獲、収容は行っていません。**

### 地域猫活動で 適正管理しながら減らそう

猫を助きたい方も困っている方も、地域猫活動を始めませんか？  
まずは、地域の代表の方にご相談ください。  
行政機関も地域の活動をサポートします。



### 猫ってどんな動物なの？

地域猫活動を始めるとき、猫の生態・習性を知ることが重要です。



## 地域猫活動の進め方

### 1 地域での話し合い

地域住民、町内会や自治会の役員などで問題点を確認し、解決に向けた取組みについて話し合います。

#### POINT

- 事前に猫の個体数やよくいる場所の情報を収集しておきます。
- 地域住民の理解を得ます。⇒歩み寄りが大切

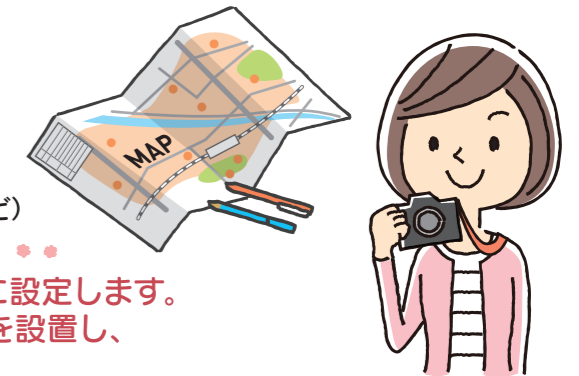


### 2 活動の計画作り

- 猫の個体把握(写真撮影)
- 餌やり(場所・時間・担当者など)
- トイレ(場所・時間・担当者など)
- 役割分担(不妊去勢手術、地域への報告、新たな飼い主探しなど)

#### POINT

- 餌やトイレの場所は人目につかないところに設定します。
- 捨て猫がないよう遺棄防止についての看板を設置し、巡回を強化します。



### 3 不妊去勢手術

- 動物病院で不妊去勢手術と、手術済みであることがわかるよう耳先を少しカットしてもらいます。
- 健康状態を確認してから、元の場所に戻します。



### 4 餌・トイレの管理

- 毎日、定時に給餌します。
- 食事後、すぐに餌の残りや容器は片づけます。
- 容器はきちんと洗います。
- 決められた場所に猫のトイレを設置します。
- トイレは毎日清掃し、砂など入れ替えます。

#### POINT

- 人間の食べ物を与えない。
- 猫のトイレは頭数+1個用意します。



### 5 その後の管理

- 回覧などにより、定期的に活動内容を地域住民に報告します。
- 捨て猫の防止を徹底します。
- 新たな飼い主探しをします。

#### POINT

- 屋外で生活する猫は、常に交通事故や感染症の危険にさらされています。屋内で飼ってあげることが、その猫の本当の幸せにつながります。

